

大谷學報 第三十八卷 (昭和三十三年度) 總目次

第一號

妙好人的信仰の思想的系譜——「惡人正機」の自覺の歴史——	柏原祐泉
精神薄弱兒の人格的適應に關する研究	大西憲明
ベルグソンと神祕主義	岩見至
俗講に關する疑義	平野顯照

第二號

唯識といふことに就て	富貴原章信
クシャトラパの性格およびかれらの佛教歸依についての諸問題	佐々木教悟
フィヒテに於ける Tathandlung (事行) の問題	加藤隆生
「法然上人行狀繪圖」成立の事情について	高橋正隆
百利口語に就いて	瀧岡孝昭

第三號

常行大悲の益について	稻葉秀賢
再び唯識義について	富貴原章信

智猛並に法勇の求法行記に就いて——附・法盛の歴國傳——..... 諏訪義讓

パイデアとしてのエロース——ソクラテスによつて實證されたる——..... 金松賢諒

ペーメに於ける七つの性..... 阿部行人

明朝と太和山について..... 間野潜龍

第 四 號

元代僧徒の免囚運動..... 野上俊靜

バルザックの世界..... 岩見至

廻向に就て..... 廣瀬 杲

自己表現の教育——デュイイを中心として——..... 藤 武

マイスター・エックハルト..... 坂エルンスト・ペンツ 弘 訳